

# 大門だより

No. 2  
(472号)

荒川区立大門小学校  
校長 神田 やよい  
令和8年 5月 1日

大門小ホームページ

荒川区立大門小学校

検索

《本校の教育目標》 考える子 やさしい子 たくましい子



## 「新緑とともに動き出す」

校長 神田 やよい

若葉が風にそよぎ、さわやかな五月晴れの日が続く季節となりました。保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

4月には「1年生を迎える会」を開催し、学校全体で新入生を歓迎しました。2・3年生の子どもたちが、学校生活にまつわるクイズや楽しい寸劇を披露してくれました。入学したばかりで緊張気味だった1年生の表情が、笑顔へと変わっていく様子がとても印象的でした。「お兄さん・お姉さんに教えてもらおう」という体験は、1年生にとっての安心感となるとともに、2・3年生にとっても「伝える力」や「思いやり」を育む大切な機会となりました。異なる学年が関わり合うことで生まれるこうした温かな空気こそ、大門小学校が大切にしたい文化であると改めて感じました。

また、タブレットPC 貸与式も行いました。1年生には一人一台のタブレットPC を大切な学びの道具として丁寧に扱うことをお願いしました。2年生以上の児童には、この機会に正しい使い方を改めて確認し、情報モラルや安全な活用について、学年に応じた指導を行いました。タブレットは使い方次第で学びを大きく広げる力を持っています。ご家庭でも、使用のルールや時間について、お子さんと一緒に話し合っただけであれば幸いです。

さて、今年度から運動会を、例年の9月から5月に変更することといたしました。保護者会でもお伝えしたとおり、近年の厳しい残暑の中での開催が児童の健康面でのリスクとなっていたことが、大きな理由です。5月の爽やかな気候のもとで、子どもたちが思い切り体を動かせる環境を整えたいという思いからの決断です。

一方で、「春の運動会では、夏を経て心身ともに成長した姿が見られない」というご心配の声があることも、十分に承知しております。もっともなご意見だと受け止めています。しかしながら、子どもたちは春であっても、日々たしかに成長しています。練習を重ねる中で培われる忍耐力、仲間と力を合わせる喜び、本番に向けて自分を奮い立たせる経験—そのすべてが、かけがえのない成長の証です。どうか温かいまなざしで、子どもたちの「今の姿」を応援していただければと存じます。

教職員一同、子どもたち一人ひとりの可能性を信じ、全力で教育活動に取り組んでまいります。引き続きご支援とご協力をよろしくお願いいたします。